

斐川行政センター増改築基本設計における施設概要等について

「斐川行政センター増改築基本設計」について、その内容等を報告します。

1. 建築概要

(1)延床面積 2,141 m²

(2)内訳 (構造・階・床面積)

区分	名称	構造・階	床面積(m ²)
既設 (改修)	西館	鉄筋コンクリート造・2階建	583
	機械室棟	鉄骨造・2階建	88
新設	増築棟	鉄骨造・平屋建	310
	多目的棟 (共用部分含む)	鉄骨造・平屋建	1,160

2. 設計にあたり考慮した事項

利便性の向上	・ユニバーサルデザインの理念を取り入れ、全ての人に「わかりやすい」「移動しやすい」「利用しやすい」を基本に利用の頻度や年齢などに関係なく、全ての人利用しやすい、優しく機能的な環境を整備します。
防災拠点	・防火性・耐震性を有し、豪雨・強風・地震など様々な自然災害に対応できる防災拠点として市民の安心・安全な暮らしを支える庁舎とします。
環境を考慮した庁舎	・自然採光や自然換気を最大限に活用するとともに、太陽光発電などエネルギーの導入による省資源・省エネルギーに配慮します。
歴史文化の発信拠点	・市民が主体となり活動できる協働スペースとして、多目的ホールを設け、市民が交流・情報発信・作品発表などに利用でき、活発に市民文化活動・伝統芸能の継承ができる賑わいのある公共建築とします。

3. 概算工事費

約 1, 5 0 0 百万円

※システム移設経費や引越しの費用等は含まれていません。

※斐川文化会館の解体費は含まれていません。

※ZEB化に向けた費用（太陽光発電設備整備費等）を含みます。

内訳（概算：百万円）

区分	事業費	備考
建築工事 (設備工事含む)	1,160	西館改修・増築棟建設、多目的棟建設
外構工事	50	
解体・仮設工事	170	
工事費計	1,380	
委託費	120	調査、設計、工事監理等
合計	1,500	

※事業費は、今後の実施設計によって変更の可能性があります。

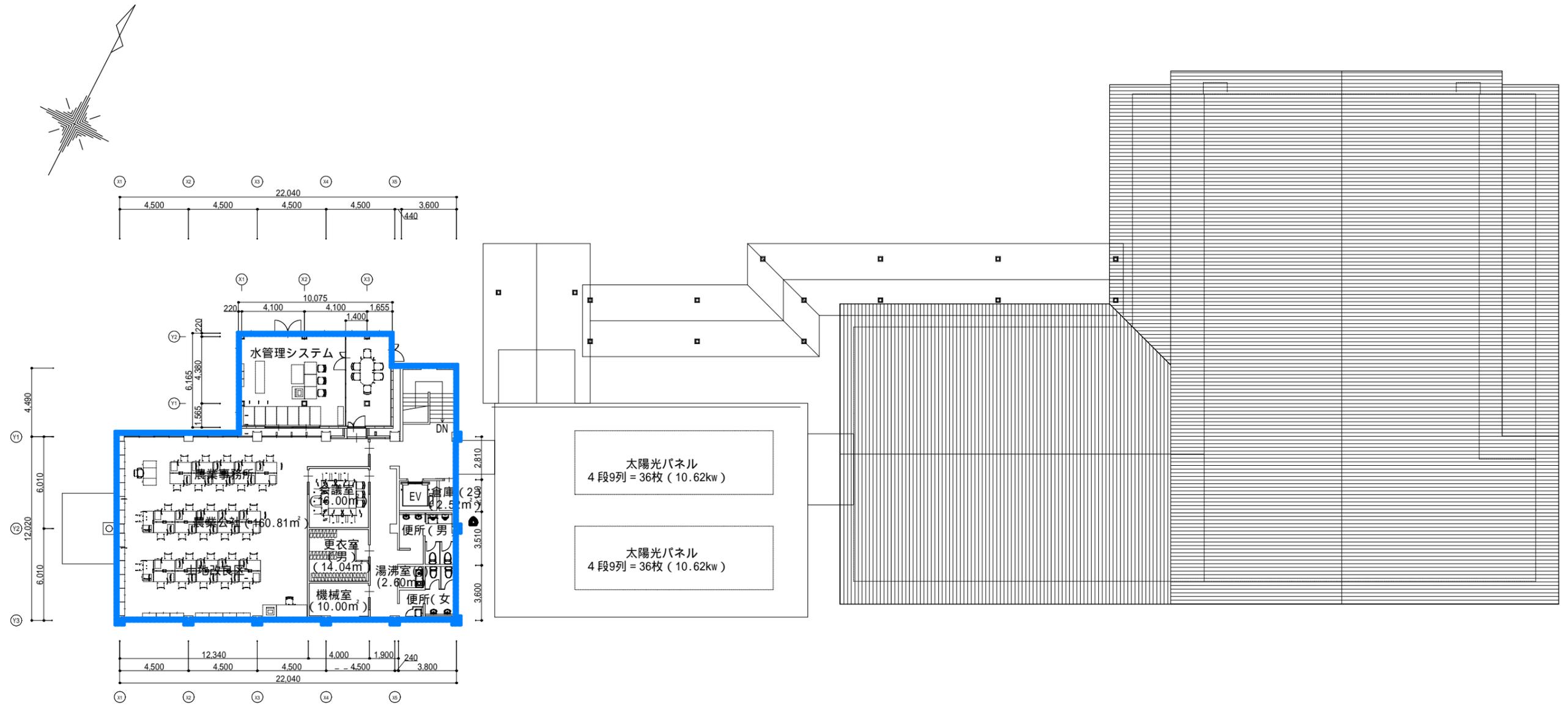
4. 財源

財源には、「緊急防災・減災事業債」（対象：多目的棟）、「公共施設等適正管理推進事業債」（対象：太陽光発電設備等、ZEB化に向けた整備）、「公共施設整備基金」を充てる予定です。

また、太陽光発電設備には、環境省の補助金（補助率 1 / 2）の活用を検討します。

5. スケジュール（予定）

令和3年度	1月	改築測量業務（～令和4年9月）
	2月	基本設計業務（～令和4年10月）
令和4年度	6月	6月補正予算（実施設計業務（西館改修・増築棟建設）、事前調査業務、地質調査業務等）
	12月	実施設計業務、事前調査業務、地質調査業務（～令和5年3月）
令和5年度	5月	本館・西分庁舎仮設工事（～8月）
	6月	本館（西側）の市民サービス課（健康福祉係）、土地改良区の機能を本館（東側）に移転
	7月	本館（西側）、議会棟解体工事（～12月）
	11月	実施設計業務（多目的棟建設工事）（～令和6年9月）
	1月	12月議会議決後、西館改修・増築棟建設工事（～令和6年8月）
令和6年度	9月	西館改修・増築棟建設工事完了後、本館（東側）、西分庁舎等から西館・増築棟に機能移転
	11月	西館・増築棟（行政センター）供用開始 本館・西分庁舎外解体工事（～令和7年3月）
令和7年度	7月	6月議会議決後、多目的棟建設工事開始（～令和8年3月）
令和8年度	4月	多目的棟供用開始 斐川文化会館の解体工事（発注時期検討中）



- 行政センター棟
- 多目的棟
- 共用部分

2 階 平 面 図

